

関西みらい銀行「グリーン預金」フレームワーク

りそなホールディングスは、2030年のSDGs達成に向け、金融サービスの提供を通じた活力あふれる地域社会を実現していくためのコミットメント（約束）として、「2030年SDGs達成に向けたコミットメント」を定めました。関西みらい銀行では、コミットメントに基づき、再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指します。また、りそなグループ環境方針に基づき、生物多様性への影響を回避または低減、保全に努めます。

弊社は、「グリーン預金」の取扱いに際し、以下のフレームワークを策定しました。

尚、「グリーン預金」に関しては、法人業務部が主管部署として、関係各部と連携し実施にあたります。

1. グリーン預金概要

- (1) 募集対象 : 法人・個人
- (2) 最低預入額 : 1,000万円（円貨）
- (3) 預入期間 : 1年
- (4) 適用利率 : 店頭表示金利

2. 調達資金の使途

関西みらい銀行は、グリーン預金を通じて調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存投融資に充当します。既存投融資の場合は、遡って3年以内に実行された投融資案件に充当します。

<適格プロジェクト>

カテゴリ	適格クライテリア
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、小規模水力発電、地熱発電、バイオマス発電（持続可能性が確認されたものまたは廃棄物由来のものに限る）、蓄電池に関する事業（設備の賃借、取得、建設、拡張を含む）
グリーン輸送	ゼロエミッション船（電気、水素、アンモニアを動力源とするものに限る）の生産事業 既存の旅客船や貨物船を上記ゼロエミッション船に転換する事業
生物自然資源・土地利用に係る環境持続型管理	ASC認証・MSC認証・MEL認証のいずれかを取得した持続可能な漁業または養殖業に関する事業（陸上養殖の場合は、RAS（循環型養殖システム）による事業に限る）
汚染の防止及び管理	再生可能エネルギー由来の水素・アンモニアの製造設備および貯蔵設備に関する事業（設備の賃借、取得、建設、拡張を含む）
エネルギー効率/グリ	以下のいずれかの認証を取得した建物の取得、開発、建設、または改造

<p>ーンビルディング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) : Silver 以上 ・CASBEE(建築環境総合性能評価システム) : A ランク以上 ・DBJ Green Building 認証 : 3 つ星以上 ・2024 年 3 月末日までに取得した BELS 認証(平成 28 年度基準) : 5 つ星以上 ・2024 年 4 月 1 日以降に取得した BELS 認証 : <ul style="list-style-type: none"> [非住宅] レベル 4 以上(※) ※レベル 4 はホテル等、病院等、百貨店等、飲食店等、集会所等に限る [住宅] レベル 3 以上かつ断熱性能 5 以上 ・ZEB、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented ・ZEH-M、Nearly ZEH-M、ZEH-M Ready、ZEH-M Oriented ・ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Oriented
-----------------	---

3. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

(1) プロジェクト選定における適格クライテリアの適用

グリーン預金における環境面での目標は「気候変動の緩和」および「生物多様性の保全」です。適格クライテリアの設定および適格クライテリアと「2030 年 SDGs 達成に向けたコミットメント」およびりそなグループ環境方針との整合性の確認は、法人業務部を含む関連部署で行いました。適格プロジェクトへの融資については、審査部が融資審査を実施の上、法人業務部が適格性を確認します。債券投資については、必要に応じて審査部へ事前協議のうえ、資金証券部による投資判断を経て、法人業務部において適格性を確認し選定します。

(2) 社会的（地元問題、環境、法令等）リスク低減のためのプロセス

関西みらい銀行では、対象プロジェクトの投融資案件ごとに、現地調査や発行体を実施する IR への参加、所管部署における審査を通じ、環境・社会的リスクの評価を実施した上で投融資可否の判断を行います。特に船舶向けのファイナンスの場合は、温室効果ガスの排出量をはじめ、最新の環境規制への対応状況などを厳格に確認します。

4. 調達資金の管理

グリーン預金を通じて調達した資金は、適格プロジェクトへの新規および既存の投融資に充当します。当該調達資金が適格プロジェクトへの投融資に充当されるまでの間は、現金または現金同等物として管理します。充当状況は、法人業務部が行内システムを用いて管理します。

5. レポーティング

(1) 充当状況のレポーティング

グリーン預金の適格プロジェクトへの充当状況については、以下の項目を、グリーン預金の残高が存

在する限り、概ね四半期ごとにホームページで開示します。

- ① 充当したプロジェクトの内容
- ② グリーン預金残高
- ③ 投融資残高
- ④ 未充当金額

なお、充当状況に大きな変化があった場合は、適時開示します。

(2) インパクトレポート

グリーン預金の残高が存在する限り、以下の指標を年 1 回ホームページで開示します。

【再生可能エネルギー】

- ・CO2 排出削減（見込）量（t-CO2）

【クリーン輸送】

- ・船舶の概要、環境仕様、隻数
- ・CO2 排出削減（見込）量（t-CO2）

【生物自然資源・土地利用に係る環境持続型管理】

- ・認証の取得状況

【汚染の防止及び管理】

- ・再生可能エネルギー由来の水素・アンモニアの製造量・貯蔵容量

【エネルギー効率/グリーンビルディング】

- ・取得した認証の種類とランク

以上